

公益充実資金の明細2

費用													
特定の事業又は資産取得等の名称	建替準備資金												
当該活動の内容	三会堂ビル建替期間中、毎年度交付されている（一財）農林水産奨励会の産業奨励金（受取財団交付金）が交付されなくなり、事業活動が困難になる恐れがあることから、当該期間中の公益事業を実施するための資金とする。												
計画期間（目的設定～実施）	西暦	2018	年	4	月	～	2026	年	3	月	月数（	95	月）
所要額の算定方法	建替期間を5年と想定し、年間交付金1,000円の5年分5,000万円を予定する、（公益事業割合は88%の4,400万円）												

費用													
特定の事業又は資産取得等の名称	建替期間公益事業継続資金												
当該活動の内容	令和9年度に竣工予定の新三会堂ビルのテナント経営は、令和12年度から正常化し安定する見込みであり、所有地の賃貸借料等収入も増額が望めることから、令和1年度までの公益事業を安定的に実施するため、収入の不足分を補う資金とする。												
計画期間(目的設定～実施)	西暦	2026	年	3	月	～	2030	年	3	月	月数（	48	月）
所要額の算定方法	土地等収入増額を令和12年度と想定し、令和8年度から令和11年度までの間の各年度不足額を2,000万円(8,000万円)とし、令和9年度に予定している事務所移転(新三会堂ビル)費用3,000万円を加え110,000万円を予定する。												

費用													
特定の事業又は資産取得等の名称	林業文献センター運営基金												
当該活動の内容	林業文献センター（林業遺産）の図書館事業は、事業の特性から運営に必要な収入を得ることが困難なことから、当センターを永続的に運営していくために林業文献センター運営基金を造成し、テナント料と司書人件費資金を当該基金の果実を充てるものとする。												
計画期間（目的設定～実施）	西暦	2026	年	3	月	～	2036	年	3	月	月数（	120	月）
所要額の算定方法	年間必要費用を750万円とし、金利を3%想定すると積立目標額は25,000万円、当該基金の原資18,240万円の不足額6,760万円を令和12年度から毎年1,000万円を積立ることを予定する。												